

広島県告示第427号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第4項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

令和4年6月2日

広島県知事 湯 崎 英 彦

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	東京都港区東新橋一丁目5番2号 三井化学株式会社 代表取締役社長 橋本 修
工場又は事業場の所在地及び名称	広島県大竹市東栄二丁目1番21号 三井化学株式会社 岩国大竹工場

2 申請の内容

33-ニ 合成樹脂製造業の用に供する静置分離器2基を廃止し、新たに2基を設置する。また、37-ロ 31号から36号までに掲げる事業以外の石油化学工業の用に供する分離施設1基の排水を減少する。

(1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法

(その1) 33-ニ 合成樹脂製造業の用に供する静置分離器2基 廃止

(その2) 新設

種	類	33-ニ 合成樹脂製造業の用に供する静置分離器 1基 (HYP OL製造施設 (HPL-T-673))
能	力	分離能力 2 m ³
工 期	工 事 着 手 予 定 年 月 日	令和4年7月1日
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	令和5年4月30日

等	使用開始予定年月日	令和5年5月1日		
使用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	連続, 24時間/日 (季節的変動なし)		
	項	通常	最大	
	排出される 汚水状態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	7	9
		生物化学的酸素要求量	440	440
		化学的酸素要求量	240	240
		浮遊物質 量	330	330
		窒素含有量	36	80
		磷含有量	2	4
		油 分	770	770
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)	4	5	
汚水等の排出先	活性汚泥処理装置			

(その3) 新設

種	類	33-ニ 合成樹脂製造業の用に供する静置分離器 1基 (HYP OL製造施設 (HPL-D-678))	
能	力	分離能力 0.74m ³	
工期等	工事着手予定年月日	令和4年7月1日	
	工事完成予定年月日	令和5年4月30日	
	使用開始予定年月日	令和5年5月1日	
	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	連続, 24時間/日 (季節的変動なし)	
	項	通常	最大

使用 の 方 法	排出 され る 汚 水 等 の 状 態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	7	9
		生物化学的酸素要求量	440	440
		化学的酸素要求量	240	240
		浮遊物質 量	330	330
		窒素含有量	36	80
		燐含有量	2	4
		油 分	770	770
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		30	45
汚水等の排出先		活性汚泥処理装置		

(その4) 変更

種 類	変更前		変更後	
		37-ロ 31号から36号までに掲げる事業以外の石油化学工業の用に供する分離施設 1基(MIBK製造施設 (D-6 (MIBK)))		
工事着手予定年月日	-		令和4年7月1日	
工事完成予定年月日	-		令和5年4月30日	
使用開始予定年月日	-		令和5年5月1日	
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)	通常	最大	通常	最大
	53	53	51	51

(2) 汚水等の処理の方法

(その1) 変更

	変更前	変更後

種	類	活性汚泥処理装置(AOプラント)									
能	力	2,600m ³ /日									
工期等	工事着手予定年月日		—				令和4年7月1日				
	工事完成予定年月日		—				令和5年4月30日				
	使用開始予定年月日		—				令和5年5月1日				
使用の方法	項	目	処理前		処理後		処理前		処理後		
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	
	排出される汚水	化学的酸素要求量	(単位: mg/L)	862	951	160	170	836	923	160	170

(その2) 変更

		変更前				変更後					
種	類	フラッシュドラム (MI BKプラント K-D-9))									
能	力	76m ³ /日									
工期等	工事着手予定年月日		—				令和4年7月1日				
	工事完成予定年月日		—				令和5年4月30日				
	使用開始予定年月日		—				令和5年5月1日				
	項	目	処理前		処理後		処理前		処理後		
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	

使用の方法	排出される汚水の状態	化学的酸素要求量	(単位 : mg/L)	7,437	8,424	200	260	7,394	8,375	200	260
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位 : m ³)			66	66	66	66	64	64	64	64

(3) 排出水の汚染状態

変更なし

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所

(1) 縦覧期間

令和4年6月2日から令和4年6月23日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境県民局環境保全課及び広島県西部厚生環境事務所環境管理課並びに大竹市環境整備課